

電機・情報ユニオン

2014年2月10日 第29号
 発行 **電機・情報ユニオン**
 〒105-0004 東京都港区新橋4-24-3
 エムエフ新橋601
 Tel&Fax 03-6450-1777
 Email: denkiunion@gmail.com

三菱を謝らせるまでは闘い続ける 三菱電機派遣切り裁判闘争 報告集会

三菱電機に雇用と損害賠償を求めて闘ってきた裁判は、最高裁が原告の上告を棄却し、終結しました。三菱電機派遣切り裁判勝たせる会は1月25日(土)、報告集会を約40名の参加で開催しました。

最高裁までの裁判闘争
その成果は大きい

弁護団事務局長の加藤悠史弁護士は「三菱電機近くの大曽根駅で派遣社員向けの宣伝活動をする中、帰宅する社員が激変した。まさに、その時リーマンショックによる派遣切りが行われていた」と当時を振り返り「原告3名の勇気ある提訴で裁判闘争が始まり一審、控訴審、最高裁と闘い、控訴審判決の維持で終結した。原告と三菱電機の黙示の雇用契約は認められなかったが、三菱電機が偽装請負、違法派遣を行ってきたことは明確に認められた。そして、派遣先企業にも派遣労働者の雇用の維持、安定に一定の配慮するべきである」とし「一部分の損害賠償を認め



1月25日(土) 三菱電機派遣切り裁判闘争報告集会

させた成果は大きい」と報告しました。

また、三菱電機の長年の違法行為を裁かない司法を批判し、労働者派遣法の抜本改正を訴えました。

4年間の活動と今後の取り組みを報告

次いで、本田直子勝たせる会」事務局長は、4年間の活動報告を行い、今後は、三菱電機の偽装請負が認められたことに基づき、愛知労働局へ再調査の要請を行うこと、三菱電機に対して謝罪などを求めていくことを提起しました。

大企業相手に闘って良かった

続いて、原告の二人からのあいさつが行われました。

Mさんは、「二審こそが正当な判決、心の支えに生きていく。こういう世界を知って良かった、一生忘れない。これから、理不尽なことがあっても三菱と闘ったんだと、がんばれる」と。

Tさんは「裁判は終結したけど、偽装請負、違法派遣をしてきた三菱電機に謝罪させ、社会的責任を果たしてもらうまで私の闘いは終われない。私たちの闘いを全国に伝えたい。私たちと同じような思いをしている人たちに勇気をもって頑張ってもらえるきっかけになったらいいなと思います。泣き寝入りせずに勇気を出して大企業相手に闘って良かったと思います」と、原告3人の中で一人だけ三菱電機、派遣会社とも非を認めなかった悔しさと決意を話しました。

最高裁の不当な上告棄却にもめげずに、闘いへ

第29号の紹介

- 1面 「三菱電機派遣切り裁判」報告集会
- 2面 大幅賃上げ、雇用と地域経済を守ろう 意気高く2014年旗びらき
- 3面 14春闘勝利1・25電機の集い 米田委員長メッセージ22
- 4面 交流のひろば、告知板

の確信あふれる二人の話は、参加者の胸をうちました。

闘いの成果を確認し 今後も闘い続ける

報告集会は、三菱電機という多国籍企業を相手に、原告、弁護士、勝たせる会が団結し、多くの方々の支援とともに闘い、一定の結果を残すことができたことを確認し、今後の闘いの出発になりました。これからも、三菱電機を謝らせるまでは闘いが続きます。

ご支援をよろしくお願ひいたします。

長沢やよい